

日本PDA製薬学会 第30回年会について 30th PDA Japan Annual Meeting 2023

日本PDA製薬学会は、世界40か国を超える国の研究者・技術者・行政関係者で組織されるPDA (Parenteral Drug Association) の日本支部に所属する学会です。

直訳すると、「非経口薬剤に関する協会(団体)」となりますが、その範囲は非経口製剤に限らず、医薬品、ヘルスケア製品の開発や製造にかかわる分野で幅広い活動をしています。

今回、日本PDA製薬学会 第30回年会において、医薬品企業の不適切事例に端を発した供給不安などの諸問題が継続している状況下、「信頼回復に導いた品質戦略とは」と題し、下記のシンポジウムが開催され、二題の講演の後に行われたパネルディスカッションに日本ジェネリック製薬協会から大石 政道 品質委員長が登壇されました。

【シンポジウムB】

開催日：2023年11月29日(水)

テーマ：「信頼回復に導いた品質戦略とは」座長：齋藤 泉 常務理事

講演1：不整合事案を踏まえたKMバイオリジクスにおける信頼回復に向けた取り組み

重光 真 (KMバイオリジクス)

講演2：協和キリンにおける社会からの信頼回復に向けた取り組み

安西 恵治 (協和キリン)

パネルディスカッション

重光 真 (KMバイオリジクス)

安西 恵治 (協和キリン)

大石 政道 (日本ジェネリック製薬協会)

蛭田 修 (熊本保健科学大学)

(敬称略)

パネルディスカッションに先立ち、大石 政道 品質委員長から、「日本ジェネリック製薬協会の信頼回復に向けた取組」と題して、当協会でのこれまでの活動内容や今後の予定などの発表がありました。

会場からは、

- 1) クオリティカルチャーの醸成について、何が一番大変だったか。何が有効であったか。
- 2) 不足がちなQA (Quality Assurance : 品質保証) の人材確保対策はどのように行っているか。どのようにしたら良いのか。
- 3) 企業で働く薬剤師が不足している現状を踏まえて、大学におけるカリキュラムの課題についてどう考えるのか。
- 4) 出来るだけ短期間に、どうやってQAスタッフを育成したらよいか。
などの質問や意見などがあり、安定供給に向けた信頼回復と、信頼を維持するためのクオリティカルチャーの醸成に対する関心の高さが感じられたシンポジウムになりました。

以上



日本ジェネリック製薬協会 大石 政道 氏